

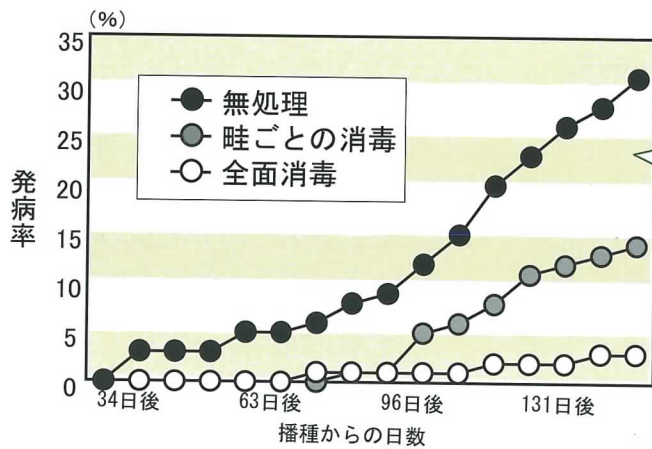
日本で初めて発生したエンドウ萎凋病の防除対策



エンドウ萎凋病の被害ほ場



エンドウ萎凋病 病原菌



畦を消毒するだけでは効果は低い。伝染を防ぐにはハウス内全面の土壌消毒が必要。

平成14年に日本で初めて確認されたサヤエンドウの重要病害であるエンドウ萎凋病 (*Fusarium oxysporum f. sp. pisi*) に対する防除方法を確立しました。本病は土壌伝染するため土壌消毒剤のクロピクテープ、クロールピクリン

またはキルパーを用い、畦立て前にハウス内全面を土壌消毒することで、高い防除効果が得られます。また、種子伝染するので、発病地から採種しないことも大切です。

(環境基盤研究部)